

集落柵点検指導マニュアル

(集落柵：集落の周りを囲う防護柵)



兵庫県森林動物研究センター

1 集落柵点検指導の進め方

(集落柵：集落の周りを囲う防護柵)

集落柵の定期点検が必要な訳は

野生動物の被害から農作物を守るために作った防護柵ですが、油断して放置していると、樹木の繁茂や倒木、土砂の流出、侵入を試みる野生動物により柵は痛み、防護効果はどんどん下がって再び被害が始めることになります。

定期点検により破損箇所を補修すると共に、乗り越え等による侵入箇所を見つけた場合は、柵の機能を向上させるために改良を加えることも重要です。

どのような指導をするのか

①聞き取り調査

まず、集落の代表者から被害の状況や対策の実施状況を聞き取り調査します。

②点検指導

次に一緒に柵に沿って歩き、柵の破損状況や野生動物の侵入状況を確認しながら点検の方法や改善点について指導します。

③集落ぐるみの対策も指導

集落柵だけで完全に被害を無くすのは困難です。野生動物を集落に誘引する原因(餌)を無くすための環境整備など、集落ぐるみで対策に取り組むことも併せて指導します。

集落柵点検指導の必須指導項目

・定期点検の実施

保守管理のための定期点検を集落のルールとして下さい。

・集落ぐるみで点検すること

毎年、管理責任者を決めて、みんなが当番制で見回りするなど、集落ぐるみで柵を管理して下さい。

・点検・補修のための管理作業道を確保すること

効率的な点検・補修作業には作業道が必要です。出来る限り、柵の外側に管理道を確保して下さい。日頃から散歩道として活用すれば、人が頻繁に作業道を歩くことで、野生動物を集落からさらに遠ざける効果も期待出来ます。

2 集落柵点検指導の実施方法

1 目的

集落の代表者と支援チームで集落柵を点検し、集落の皆さんに点検のポイントを指導すると共に、保守管理や改修の重要性について認識を深めて貰います。併せて、動物の集落に寄せ付けない工夫や環境整備の重要性についても学んでいただきます。

2 指導対象

原則的には、集落の周りを囲う恒久金網柵を設置している集落で、集落住民による自主点検の指導を想定しています。農地を囲う柵の設置や保守管理の指導、集落ぐるみの総合的対策の指導については、集落から要望に応じて別途に行うこととします。

3 方 法

(1) 聞き取り調査

- ①集落聞き取り調査票(様式①～③)により、集落の代表者から、集落柵の設置と管理の状況、野生動物による被害や対策の実施状況について聞き取り調査する。
また、集落柵の定期点検の励行についても併せて指導する。
- ②集落柵設置ルート地図(別紙例:1/5000以上の縮尺)を用いて、調査ルートを確認する。

(2) 防護柵点検

- ①集落の代表者(数名)と支援チームのメンバーで実際に集落柵点検を行い、点検、保守管理のポイントについて解説する。
- ②記録
 - ・集落柵設置ルート地図に柵の破損・不備、野生動物の侵入箇所・痕跡等の調査結果を書き込む。
 - ・写真やビデオ等を撮影し、集落柵設置ルート地図に位置と撮影時間を記入しておく。

(3) 結果の取り纏めと回答(集落へは回答は後日となる。)

- ①集落柵設置ルート地図の記録に基づき集落柵点検表(様式④)を作成する。
- ②集落点検表の指導事項欄に具体的な改善すべき点や、保守管理上の留意点等のコメントを記入し、集落へ回答する。

4 必要な道具類

集落柵設置ルート地図(1/5000以上の縮尺)、集落柵点検表、筆記用具、バインダー、メジャー、目印用テープ、デジカメ、コンパス、(双眼鏡、ハンディーGPS)など

これだけはご注意ください!!



防護柵の点検作業は、山の中や藪の中も歩くことがあります。くれぐれも怪我や事故の無いように、安全第一に出来る範囲で実施するようにして下さい。

春から秋にかけては、ヒル、ダニ、ハチ、毒ヘビやウルシなど有害動植物の被害に遭わぬよう、服装や足回りの備えを充分にしておきます。また、クマの生息地域では、鈴やラジオなど音の出る物を身に付けてください。

集 落 聞 き 取 り 調 査 票

様式①

集落名	市(町)	調査月日	
回答者	・自治会長・農会長・他	調査者	

ア 集落の状況

集落戸数	全： 戸 農家： 戸 専業農家戸数	戸 農地面積	ha
集落営農	・有・無・検討中 タイプ： ・共同利用型 ・農作業受託型 ・集落営農型 ・他		
主な作物	生産組合 ・有・無 ()		

イ 被害状況

被害内容	・農業被害 (・換金作物 ・家庭菜園) ・生活被害 (家屋、精神被害等) 年ぐらい前から					
加害動物	シカ	イノシシ	サル	アライグマ	クマ	他
被害作物						
時 期						
程 度						

ウ 防護柵 (農地の周囲、集落柵)

[注] 被害の程度 ①ほとんど無い②軽度③大きい:生産量の30%未満 ④深刻:生産量の30%以上

個人で農地に柵を設置していますか	・していない ・一部している ・多数している ・大多数している
柵の種類は	・のりあみ ・電気柵 ・金網柵 ・ワイヤーメッシュ ・他
集落共同で農地に柵を設置していますか	・していない ・一部している ・広範囲にしている ・全域している
柵の種類は	・のりあみ ・電気柵 ・金網柵 ・ワイヤーメッシュ ・他
どんな動物の被害を防ぐためですか	
集落柵の設置予定はありますか	・既設 ・予定はない ・検討中 ・ () 頃に予定している
集落柵を設置しない (出来ない) 理由は	・それほど被害では無い ・経費が高すぎる ・効果が期待出来ない
具体的に	・集落内で被害の差が大きい ・集落内で住民意識の差が大きい
補助事業の活用についてどう考えますか (有効に活用したい、自己負担が大きすぎる等の意見を具体的に)	

エ その他の被害対策の取り組み

集落で取り組んでいる野生動物対策は	・追い払い ・環境整備 ・栽培管理 ・他 ()
捕獲対策はしていますか	・していない ・有害捕獲を申請している ・猟友会と集落の連携により実施
捕獲対象の動物はなんですか	

オ 獣害対策への意識

集落で対策について定期的に話し合っていますか	・いない ・過去にある ・時々ある ・継続している
集落で被害の記録をつけていますか	・していない ・記録している人がいる ・記録している
被害対策の研修会に参加したことがありますか	・ない ・参加した人がいる ・集落で開催したことがある
研修会が開催されれば参加を希望しますか	・しない ・希望する人がいる ・集落での開催を希望する
集落で獣害対策に労力を割くことができますか	・出来ない ・多少はやむを得ない ・ある程度出来る ・出来る
集落で獣害対策に費用をかけられますか	・出来ない ・多少はやむを得ない ・ある程度出来る ・出来る
集落ぐるみで対策に取り組む意欲がありますか	・ない ・検討する ・ある ・出来ない ()

カ 獣害問題の背景

これからの集落の農業の方向性について	・拡大傾向 ・現状維持 ・縮小傾向
耕作放棄地の状況について	・放棄地はない ・縮小傾向 ・現況維持 ・拡大傾向
集落としての獣害対策の優先度は	・最重要課題 ・重要課題の一つ ・課題である ・課題ではない
	最重要課題は ()

キ その他の聞き取り事項 (農産加工や直売所、都市との交流など集落独自の取り組みや目標)

--

「集 落 柵」 聞 き 取 り 調 査 票

様式②

集落名		調査月日		回答者	自治会長 ・ 農会長 ・
集落の地形	山林に接した平野 山間の谷筋 山間の入り込んだ谷筋 浅い谷				
山林の状況	人工林 天然林 竹林等の状況 (				

集落柵の設置・維持管理状況

種類		高さ		対象獣種	
総延長		設置年度		補助事業名	
設置ルート	・ 林縁部・ 山林内・ 林縁～山林内・ 農地周囲				
柵の設置	管理道 無 ・ 有 (山側 ・ 集落側 ・ 両方)				
	労力: ・ 集落 ・ 民間業者 ・ 行政 ・ ボランティア ・ 他 集落負担経費: ・ 個人負担 ・ 農地面積割 ・ 集落経費 補助金活用: ・ 無 ・ 有 (負担率				
	備考: 資材など				
柵の点検	担当役員: 無 ・ 有 () 人		点検頻度: 回 / 年 不定期 or 定期 (春・夏・秋・冬)		
	誰が?: ・ 役員 (・ 農会 ・ 自治会 ・ 生産組合) ・ 全員参加 ・ その他 ()				
	備考:				
柵の補修	担当役員: 無 ・ 有 () 人		補修頻度: 回 / 年 破損時 or 定期 (春・夏・秋・冬)		
	点検で問題点が見つければすぐ補修できている? できている ・ できていない				
	誰が?: ・ 役員 (・ 農会 ・ 自治会 ・ 生産組合) ・ 全員参加 ・ その他 ()				
	費用負担: ・ 集落経費 ・ 集落積み立て ・ 補助金活用 ・ その他 ()				
	備考:				
柵の効果	シカ	大変効果ある ・ どちらかといえば効果ある ・ あまり効果ない ・ ほとんど効果ない			
	イノシシ	大変効果ある ・ どちらかといえば効果ある ・ あまり効果ない ・ ほとんど効果ない			
苦労している点			工夫している点		

「有 害 捕 獲」 聞 き 取 り 調 査 票

様式③

集落名		調査月日		回答者	自治会長 ・ 農会長 ・
-----	--	------	--	-----	--------------

対象獣種：()

担当役員	無 ・ 有 () 人 固定 or 交替	連絡体制	住民 → () → () → 捕獲班
------	----------------------	------	----------------------

効果について	効果ある ・ どちらかといえば効果ある ・ あまり効果ない ・ 効果ない
--------	--------------------------------------

理由：

有害捕獲活動に対する協力体制がとれているか？	うまくとれている ・ 問題ある
------------------------	-----------------

具体的に：

集落の役割 (役員を含む)	有 ・ 無	個人の役割	有 ・ 無
---------------	-------	-------	-------

苦労している点		工夫している点	
---------	--	---------	--

集落柵設置ルート地図 例



集落柵点検表

様式④

集落名:		調査月日:		調査者:	
------	--	-------	--	------	--

・点検記録(地図に書き込んだ番号(記号)を枠内に記入する。)

物理的破損等	金網の破損												
	支柱の破損・湾曲												
	倒木による破損・湾曲												
	土砂流出、崩れ												
	森林繁茂による圧迫												
侵入可能箇所	扉の開け放し												
	柵の切れ目												
	水路による分断、隙間												
	道路による分断												
	飛び越え箇所												
動物の痕跡	明らかな侵入箇所												
	足跡												
	糞												
	ヌタ場												
その他の問題点													

・不備、改善点(○×△等を記入)

ルート		高さ		強度		隙間		道路対策		水路対策		老朽度	
-----	--	----	--	----	--	----	--	------	--	------	--	-----	--

・野生動物の侵入状況(聞き取り内容を含む)

集落へのシカの侵入は	・ほとんど無い	・ある	・多い	・かなり多い
集落へのイノシシの侵入は	・ほとんど無い	・ある	・多い	・かなり多い
集落への進入経路は	柵の破損箇所、飛び越え、集落内の柵未設置箇所、他集落からの廻り込み など具体的に			

・指導事項

--